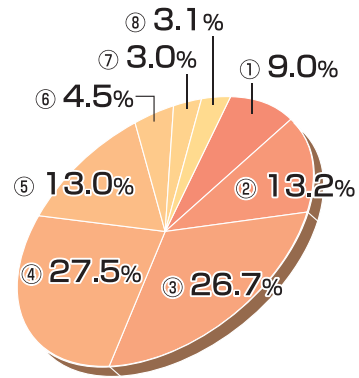


参加者DATA

◆クラス別参加者数

No.	種別	人数(人)
1	男子A (13~29歳)	54
2	男子B (30~39歳)	79
3	男子C (40~49歳)	160
4	男子D (50~59歳)	165
5	男子E (60歳以上)	78
6	男子F (13歳以上、 体重70kg~80kg未満)	27
7	男子G (13歳以上、 体重80kg以上)	18
8	女子 (13歳~)	19
	合計	600

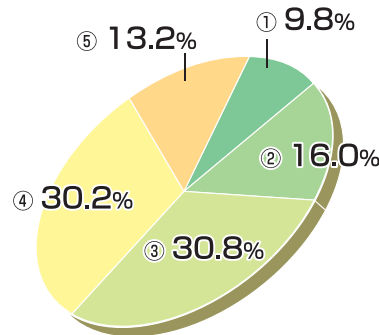


◆都道府県別参加者数

No.	都道府県	参加
1	宮城県	327
2	山形県	51
3	青森県	11
4	岩手県	16
5	秋田県	9
6	福島県	73
7	栃木県	8
8	茨城県	12
9	群馬県	2
10	千葉県	15
11	埼玉県	15
12	東京都	30
13	神奈川県	12
14	新潟県	6
15	富山県	2
16	静岡県	1
17	愛知県	1
18	大阪府	3
19	兵庫県	2
20	岡山県	1
21	広島県	1
22	福岡県	1
23	沖縄県	1
	合計	600

◆年代別参加者数

No.	年齢	人数(人)
1	30歳未満	59
2	30代	96
3	40代	185
4	50代	181
5	60歳以上	79
	合計	600



◆出走者・完走者数

項目	人数(人)
参加者数	600
出走者数	424
当日不参加数	176
完走者数	414

◆男女別参加者数

No.	性別	人数(人)
1	男性	581
2	女性	19
	合計	600

◆第11回大会優勝記録

氏名	年齢	居住地	記録
三原圭太さん	24	福島県	59分55秒

◆最年少・最年長・最遠隔地参加者

項目	氏名	年齢	居住地
最年少参加者	軽部翔太郎さん	13	山形県
最年長参加者	山崎 武美さん	78	兵庫県
最遠隔地参加者	菊地美樹雄さん	66	沖縄県

参加選手の皆さんお疲れ様でした



大会報告書

日本の蔵王ヒルクライム実行委員会

蔵王エコライン 日本の蔵王 ヒルクライム・エコ2022

HILLCLIMB ECO2022

2022.5.22日

目指せ日本一の強者!!
「エコラインを制する者は全国を征す」



第11回大会トピックス

大会予告

大会スポットCM
(15秒・13本)
5/13~5/22
カメイ株式会社様 特別協賛

大会当日



先導車両無償貸渡
「ハリアー」
「ヴォクシー」
「ライス」他 計6台
協賛: 仙台トヨペット株式会社様

入賞者副賞・特別賞

仙台トヨペット株式会社様
JAみやぎ仙南農業協同組合様
一般財団法人 蔵王酪農センター様
エコファーム蔵王株式会社様
株式会社 丸実屋様
株式会社 トスネット様

大会参加賞

荒井商事株式会社様
株式会社 大塚製薬工場様
株式会社 明治様

■主催/宮城県蔵王町・蔵王町教育委員会

■主管/日本の蔵王ヒルクライム実行委員会 ■協力/宮城県サイクリング協会・(一社)蔵王町観光物産協会・蔵王町スポーツ協会・東北シクロクロス協会

■特別協賛/カメイ様 ■協賛/仙台トヨペット様

■後援/宮城県・公益社団法人 宮城県観光連盟・みやぎテレビ・TBC東北放送・仙台放送局・仙台放送・khb 東日本放送・エフエム仙台
読売新聞東北総局・河北新報社・毎日新聞仙台支局・朝日新聞仙台総局・産経新聞東北総局・報知新聞社・日刊スポーツ新聞社東北総局



5月22日(日)蔵王エコライン・ハイラインを舞台に「日本の蔵王ヒルクライム・エコ2022」が3年ぶりに開催され、第11回目となった今大会には全国23都府県から総勢600名のエントリーがありました。

コースは全長18.7km、標高差1,334mと、ヒルクライムコースとしては国内屈指の難コースで、新緑から雪の回廊へと装いが変化し景色も楽しめるコースとなっておりますが、当日は雨と濃霧にみまわれ、悪条件の中でのレースとなってしまいました。しかし、選手達はそれぞれの思いを秘め、白熱したレースが繰り広げられました。

日本の蔵王



▲年に一度、蔵王ヒルクライム大会でのみ自転車で行ける、プレミアロードを駆け上がります。



▲全国屈指の難コースを制覇。



▲雨に見舞われましたが、選手は3年ぶりの大会を楽しんでおりました。



▲スタートの号砲を待つ選手達。



▲スタッフも参加選手に大きな声援を送りました。

至山形県上市市



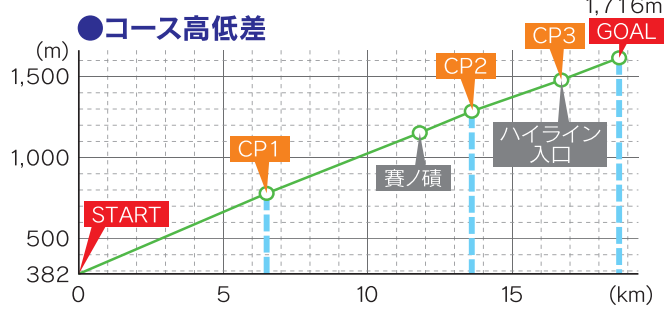
● 御釜



▲リザルトを確認する選手達。



▲参加賞として、大会記念タオルや協賛いただいた飲み物などが贈られました。



▲大会を終え、今大会リニューアルされたメインステージにおいて、愛車の自転車やご家族で記念撮影。